

一丸となって新年へ

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774(代)
FAX (03) 3464-1884
info@setubikougyo.co.jp
年額8,800円(税込送料込)



TOTO
システムバスルーム シンラ
SYNLA
詳細はカタログまたは
弊社WEBサイトをご覧ください。
https://jp.toto.com

東管協組 設備展が大成功

東京都管工事工業協同組合(宮崎文雄理事長)は12月13日、港区赤坂の東京都管工事会館で記者会見を開き、組合活動の一年を振り返るとともに、新年の抱負を明らかにした。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ3年ぶりに管工機材・設備総合展を開催し、約1万8千名の動員を達成するなど大成功を収めた。創意工夫を凝らして実現した貴重な成果を踏まえ、新年はさらなる財政基盤・組織強化などを重点課題に一丸となって邁進していく。

財政基盤・組織強化へ邁進

記者会見には宮崎理事長をはじめ五十嵐副理事長(総務担当)、上杉貴志副理事長(技術担当)、新家功一(副理事長)、メンテ担当、岩野隆一(副理事長(事業担当))、宮坂良弥(総務部長)、宮城美貴(執行部役員)が出席。柳男専務理事らが出席。柳沢典事務局長の司会で冒頭、宮崎理事長があいさつに立ち「コロナ禍の影響を受けながらも今年度は感染防止対策の一環として東京都北区立滝野川第三小学校に自動水栓を寄贈し、子供たちがたいへん喜んでくれた。また第54回管工機材・設備総合展を3年ぶりに開催し大盛況となった。これらの成果を踏まえ、役員一丸となって新たな気持ちで新年に臨みたい」と力強く述べた。



宮崎理事長



執行部役員が記者会見

と、3年ぶりの設備展では東管技能クランプリや体験コーナーなどの新企画で一段と盛り上がり、長野・千葉の物産展など部門別の取り組みでは、

も好評で業界の活性化をもたらした。また業務推進に向けた東京都への予算要望を行うとともに、区役所訪問などを通じて基幹事業であるメンテナンスセンターの認知度向上に努めた。来年度導入されるインボイス制度についてもセミナーなどを先駆けて展開している。

新年は積極的な予算要望や生産性向上につながるデジタル化への対応などに努めていく。とくにメンテナンスセンターの一層の充実による財政基盤強化・拡大と組合活動のベースキャンプである事務局の強化をめざす。部門別の取り組みでは、

五十嵐副理事長が「物価の高騰やコロナ禍で中小企業は苦境に立たされている。今後の増税について行政当局に適切な配慮を求めていく」、上杉副理事長が「設備展では東管クランプリが注目を集めた。技能の向上へ今後も継続していきたい」、新家副理事長が「悪質業者に対する注意喚起に努めている。消費者に信頼されるメンテナンスセンターをめざす」、岩野副理事長が「設備展の実行委員長として皆さまの協力を改めて御礼を申し上げる。若い人たちにノウハウを引き継いでさらに進化してもらいたい」、宮坂総務部長が「各部門でさまざまな世代の方々が活動されている。情報を共有し、円滑な組合運営に努めたい」、宮城専務理事が「新年の総代会では役員改選が行われる。新たな陣容で諸課題に取り組むことになるので旧に倍するご支援をお願いする」と述べ、一層の協力を要請した。

流域治水実践へ施策集作成

国土交通省 関係者の協働・共有を促進

国土交通省は12月15日、水害の激化・多発化に対応し、関係者の協働・共有を促進する「流域治水施策集」を新たに作成した。流域の自治体が設置した雨水貯留施設などで一定量の雨水が河川へ流入することを防いだ事例も報告されていることから、実施主体別に施策の目的・役割分担・支援制度・推進のポイントなどを整理した。流域治水協議会事務局を通じて関係者と共有・活用し、具体的な実践につなげていく。

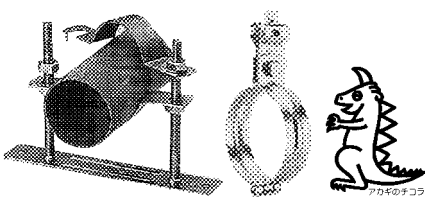


流域治水施策集の表紙

が今後さらに増大すると予測されている。このため同省は社会資本整備審議会に気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について諮問し、令和2年7月に答申が行われた。

関係者が協働して水害対策に取り組む流域治水の考え方に基つき、堤防やダムなどの河川整備を加速するとともに、集水域(雨水が河川に流入する地域)から氾濫域(河川氾濫などで浸水が想定される地域)にわたる地域の全関係者による水害対策を推進している。今回、早期復旧・復興をめざす対策などをハード・ソフト一体で多層的に展開していく。

配管支持金具



株式会社 アカモ

配管支持金具の
株式会社 アカモ
本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表)
営業本部 ☎03-3552-7091(代 表)
本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

セパレート構造になって作業効率大幅アップ!

NEW

セパレート式 給水ユニット MC5Sデビュー!

みなさまのご要望をもとに開発&改善を重ね、テラルから施工のしやすいセパレート式直結給水ブースタポンプが新登場!

セパレート構造だから

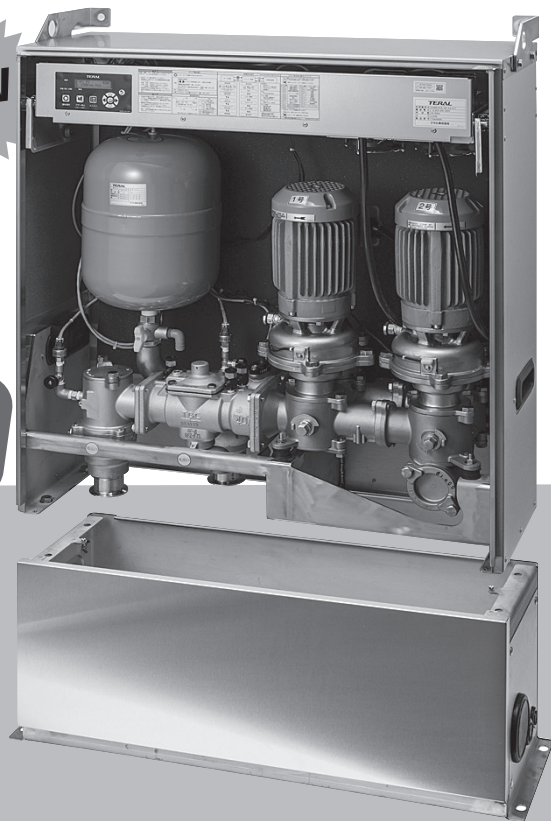
 **施工**が
しやすい!

 **搬入**が
しやすい!



管理人さんも
大喜び!

結果 → ① 作業時間 & 断水時間が短く!



テラル株式会社
www.teral.net

本社 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
TEL:084-955-1111/FAX:084-955-5777
東京支社 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル6階

詳しくは
MC5S
特設サイトへ



TERAL